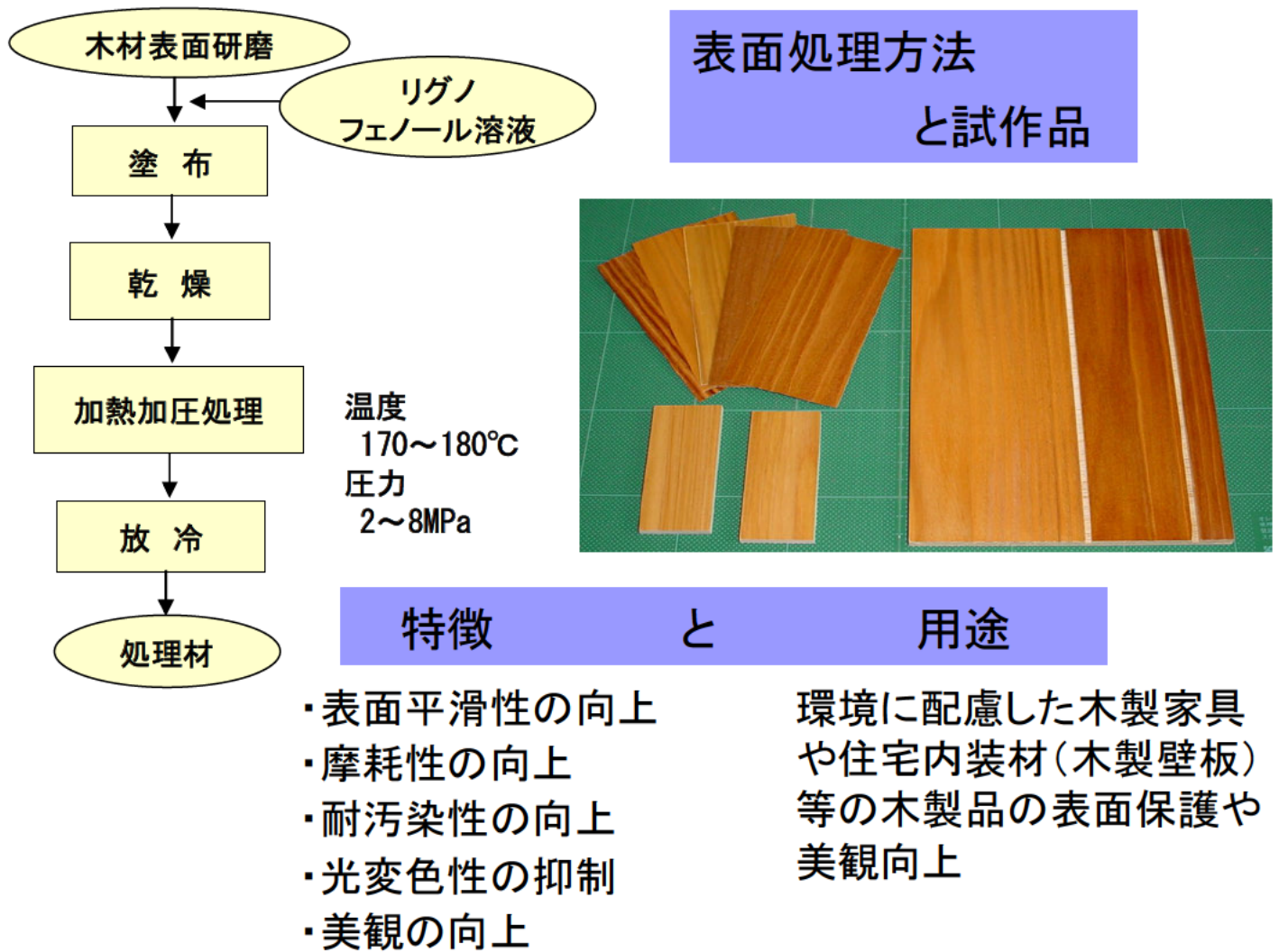


# リグノセルロース系材料からなる基材の表面処理方法

化石資源での塗装 → 持続性資源(木材成分)で代替化

持続性資源である木材から取り出されたリグニン材料を用いて、木材表面の美感や耐久性の向上を図る処理技術を開発しました。従来の自然系塗料のように塗布するだけでなく、塗布・乾燥後、加熱加圧処理を行うことにより、平滑性や耐摩耗性、耐汚染性の向上を図っています。(平成15年度に三重大学生物資源学部と共同開発しました。)

※特許第4118772号(平成20年5月2日付登録)



リグノセルロース系材料:リグニンとセルロースからなる木材などの素材

リグニン:木材を構成する主要成分の1つ(重量比で2~3割)で、網目状の構造を有する分子量の大きい天然物

リグノフェノール:木材中のリグニンをフェノール類と硫酸を用いて化学反応させ、鎖状の構造に変換し取り出される植物由来の高分子化合物